

このニュースレターは、西郷港周辺地区の「デザイン」に関する検討状況を紹介するためのものです。

10年かけて一緒に、地区を今よりもっと魅力にあふれる楽しいまちにするための手法やプロセスを情報発信していきます。

アイデア

TOPIC 01

前回のワークショップでのご意見を受けて、新しい道のデザインを検討中です。



デザイン検討、ワークショップから模型を作成して検討しています。

▲大社分院通りの検討模型

9/24のワークショップで頂いたご意見をもとに、大社分院通りの検討を進めています。鳥居の外側の大きさと同じで使いやすい幅員6mとし、舗装パターン、植栽、照明などの工夫を検討しています。

※このニュースレターでは右のような2種類のデザイン案をお示しします。

**アイデア**・・・皆さまから頂いた意見を元に、町とチームで考えた提案です  
**決定案**・・・関係者間で協議調整を重ね、最終に取りまとめた案です

開催報告

TOPIC 02

第2回みちづくりワークショップ((仮称)うみまち通りWS)を開催しました。

開催日時

令和4年11月23日(水) 10:00-12:00

参加者

エリア会、出雲大社関係者、隠岐高校教員 計:13名

WSの内容

①事務局挨拶 / ②事業全体の計画説明 / ③うみまち通り計画説明と利用イメージの紹介 / ④意見交換 / ⑤大社分院通り検討内容の報告

新たに「みち広場」として整備される「(仮称)うみまち通り」の過ごし方、活用について意見交換をおこないました。また大社分院通り(仮称)の検討内容を報告し、ご意見を頂きました。



▲うみまち通りに関する意見交換の様子



▲大社分院通り検討内容の報告

「(仮称)うみまち通り」についての主な意見

- ・住民も観光客も海釣りができる場所がほしい
- ・映画をみたい / 海上花火をみる場所がほしい
- ・子供たちが帰りにぶらぶらできる場所がよい
- ・休日気安く過ごせる場所: 買い物、イベント、読書、学習、飲食、交流など / wifi環境の充実
- ・フラダンスや民謡の披露ができる場所がよい
- ・うみまち通り=全体がバスやフェリーの待合所
- ・土曜夜市を復活したい
- ・Uターンの人材との協働・支援の充実
- ・まちづくりを運営していく仕組みも検討すべき 他

次号について

次号のみちづくりワークショップは、2月頃を予定しており、その結果を踏まえて、(仮称)大社分院通り、(仮称)うみまち通りの検討案をご紹介します。

プロジェクトメンバーから

何回来て、隠岐の島に近づく時のワクワク感が好き!



ランドスケープ担当  
上條・福島都市設計事務所  
代表取締役 福島秀哉

プロフィール 岩手県出身。子供の頃は親の転勤で全国各地を転校ばかりし、今は研究・設計の二足の草鞋で全国のまちづくりに走りまわっています。

地域の風景に関する研究や、道や川や広場のデザインをしながら、全国の各地のまちづくりに携わっています。30代は地元岩手を襲った東日本大震災の復興に全力で取り組んでいました。昨年、隠岐の島のコンペの募集を見た時、これは自分がやりたい、やるべき仕事だと感じ、10年のまちづくりを島の皆さんと本当に頑張れるメンバーとともに応募しました。今は、来るたびに島の新しい魅力に触れ、島の皆さんとお話するたびに、隠岐の島の可能性にワクワクし、自分の直感を信じてよかったです。隠岐の島に来ないと見られない、世界のどこにもない、心を震わせる、暮らしの風景を島の皆さんと一緒につくっていききたいです! よろしくお祈りします!

発行  
隠岐の島都市計画課

Instagram

